

農環研サイエンスカフェ



10月16日（日）、イーアスつくば内にあるウィズガーデンつくばの喫茶コーナーをお借りして、サイエンスカフェ「農業が地球を温める!?—一畑から出る温室効果ガス—」を開催しました。

今回このサイエンスカフェは、文部科学省の女性研究者

研究活動支援事業のひとつとして行われました。普段あまり親しみのない研究者と一般の方々との交流の場を設け、アットホームな雰囲気の中お茶を飲みながら科学について気軽に語り合う試みとして始められました。

4回目となる今回は、物質循環研究領域の秋山博子主任研究員が、いま注目されている地球温暖化について、主に農業分野に焦点を置きながら、地球温暖化に関する基本的な内容から温室効果ガス

の現状、さらに農耕地から発生する温室効果ガスの発生メカニズムや削減方法について説明しました。

参加した23名の方々からは最初から最後までさまざまな質問が次々に飛び出し、温暖化問題への関心の高さがうかがえた中、「食糧生産を維持しながら、温室効果ガス排出を削減する」という研究の目的や具体的な対策について、会場全体の理解が深まりました。

(広報情報室 広報グループ)



つくば科学フェスティバル2011

11月12日（土）・13日（日）の2日間にわたり、つくばカピオ（茨城県つくば市）において「つくば科学フェスティバル2011」が開催され、(独)農業環境技術研究所からは、「小さな微生物の大きな力」を出展しました。



今年の展示では、分解しにくい生分解性プラスチックをぼろぼろに崩したり、牛の餌と同時にエタノールを作るなど、微生物の能力を引き出し活用する研究を紹介しました。会場は、いろいろな微生物・小動物を顕微鏡で観察して驚く人や、微生物の働きについて熱心に聞き入る人でにぎわいました。また、恒例となったクイズも好評で、たくさんの方に参加して頂きました。

つくば科学フェスティバルは、つくば市・つくば市教育委員会主催で市内の学校・研究所などが青少年向けに科学技術に親んでもらう機会として毎年開催している科学イベントです。今年はずくば環境フェスティバル、つくば3E環境フォーラムとの同時開催ということもあり、様々な企画が実施された会場はたくさんの参加者で盛り上がりました。

(広報情報室 広報グループ)

農環研ニュース No.93 平成24年1月20日

発行 独立行政法人 農業環境技術研究所 〒305-8604 茨城県つくば市観音台3-1-3
 電話 029-838-8191 (広報情報室 広報グループ)
 ホームページ <http://www.niaes.affrc.go.jp/>

印刷 (株)高山